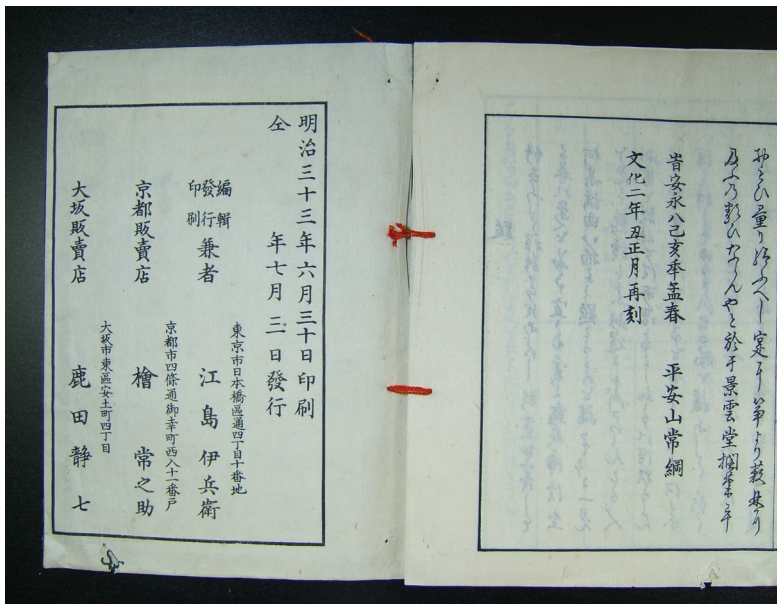
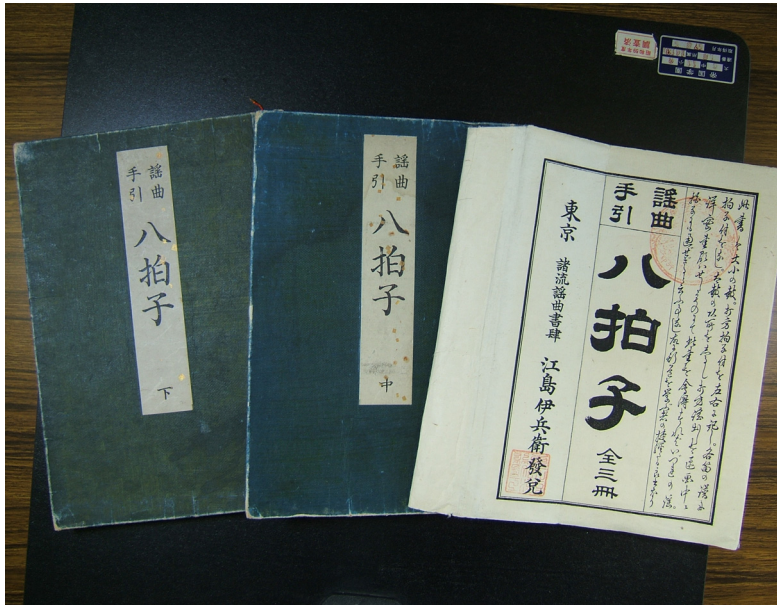


虎溪堂亀曳『日本古典音楽文献解題』より

『謡曲手引 八拍子』

包紙に「此書は大小の鼓。打方拍子付を左右に記し。各笛の譜に拍子付をなし。太鼓の頭所をしるし打方謡出しを区画中ニ詳密書頭ハせしものにて此書を会得すればいづれの謡。拍子にも通ぜざると云ふ事なし故に斯道を学ぶ者の捷徑たる良書なり」とあり、この書が各パートを詳しく書いたスコア的な特徴をもっていることがうたわれている。9頁の復刊。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…謡曲八拍子(跋)、八拍子(柱)、

謡曲手引 八拍子 中、下(題

簽)、謡曲手引 八拍子 全三冊

(包紙)

著者 奥附…

その他の場所…

出版 版次…

出版地…東京

出版社…江島伊兵衛(編集・発行・印刷)

出版年…明治33(1900)

その他の場所…跋 安永8(1779)

形態 冊数…二冊十包紙 頁数…五十丁、

五十八丁

寸法…23×17(cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 安永八(一七七九)年 平安山常綱跋。

文化二(一八〇五)年再刻(跋)。復刊

は明治三十三年、江島伊兵衛発行。全三

冊のうち上巻欠。